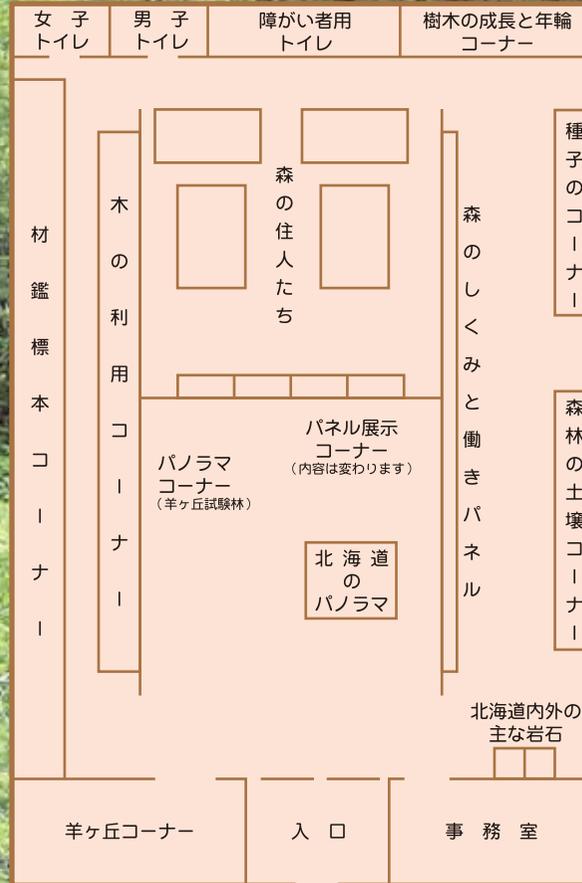


私たちと森林

森林は私たちにとってたいへん重要なものです。

森林は住宅、家具、紙、などに使う木材を生産する緑の工場です。森林は天然の貯水地として水をたくわえ、空気をきれいにします。また、洪水や山くずれを防ぎ、鉄道や人家、耕地を守ります。そして、森林は動物たちのすみかとなり、楽しく遊べる憩いの場を人間に与えてくれます。

このように森林は、ただ緑の資源であるばかりでなく、私たち人間の生活を豊かにし、国土を守る役割を果たしています。



森と親しむ 標本館



交通案内

- 札幌駅(地下鉄)―月寒中央駅(中央バス月82)―西岡3-9
- 札幌駅(地下鉄)―澄川駅(中央バス南81・澄73)―西岡3-9
- 新千歳空港(北都交通バス)―西岡3-9

標本館へようこそ

開館：平日(月～金)のみ 9時～16時(12～13時を除く)
 休館：土、日、祝・祭日、
 年未年始(12月29日～1月3日)
 入場料：無料

国立研究開発法人 森林研究・整備機構
 森林総合研究所北海道支所



■ パノラマコーナー

山火事跡は、はじめシラカバ、ヤマナラシ等の明るい環境を好む樹木(陽樹)の一斉林となりますが、暗くなった林内では陽樹の苗は育つことができません。徐々にシナノキ、ミズナラ、イタヤカエデ等の暗い中でも育つ樹木(陰樹)へと移り変わっていきます。



■ 材鑑標本コーナー

昔、札幌にもこのような大木が生えていました。このように大きくなるには何百年もの年月がかかります。これが樹木の特徴の一つです。広葉樹の木部は組織の置き方によって環孔材(ミズナラ、ハルニレ等)、散孔材(シナノキ、ブナ等)などに分けることができます。



フクロロウ

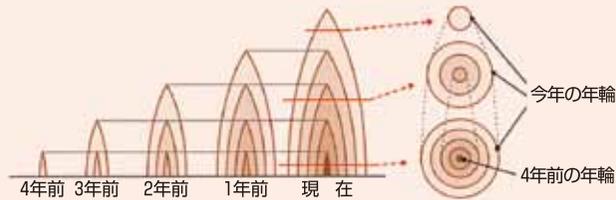


カラスアゲハ

ホンDOIタチ

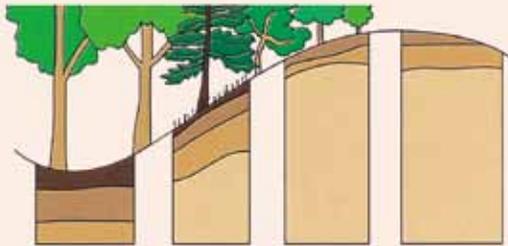
■ 森の住人たち

森には樹木だけでなく、けものや鳥、虫などがくらしています。これらの動物も森の重要なメンバーです。



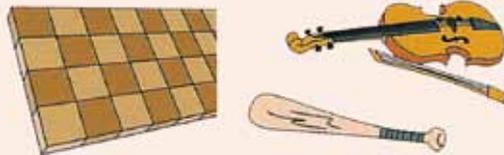
■ 樹木の成長と年輪コーナー

樹木は外側へ皮をかぶるようにして成長しています。だから、一番外側が一番新しいのです。年輪を数えることにより樹木の年齢を知ることができます。



■ 森林の土壌コーナー

森林の土は気候や地形、地質等によっていろいろな表情を見せてくれます。一般に尾根筋の土は乾いており、沢筋の土は湿っています。



■ 木の利用コーナー

伐りだされた木は、木そのものの良さを生かして柱や板として利用する他、集成材等に高度に加工して、私たちの身の周りでもさまざまに利用されます。



■ 羊ヶ丘コーナー

当支所の歴史や実験林・樹木園の変遷を写真等のパネルで紹介しています。



お問い合わせ

森林総合研究所北海道支所

〒062-8516 札幌市豊平区羊ヶ丘7番地

TEL011-851-4131

URL <http://www.ffpri.affrc.go.jp/hkd>